

## 令和5年度「全国学力・学習状況調査」結果についてのお知らせ

佐賀市立城西中学校

4月に文部科学省による学力・学習状況調査を実施しました。全国的な義務教育の機会均等と水準向上のため、生徒の学力や学習の状況を把握・分析し教育の改善を図るとともに、生徒一人一人の学習改善や学習意欲の向上につなげることを目的としているものです。

結果を基に、本校生徒の学力の傾向を分析し、学力向上について対応策をまとめました。その概要についてお知らせいたします。

### ■ 調査期日

令和5年4月18日(火)

### ■ 調査の対象学年

中学校3年生生徒

### ■ 調査の内容

#### (1) 教科に関する調査(国語、算数・数学、英語)

- |  |
|--|
| ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等に関わる内容。<br>②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容。<br>調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。出題形式については、記述式の問題を一定の割合で導入する。 |
|--|

#### (2) 生活習慣や学習環境に関する質問紙調査

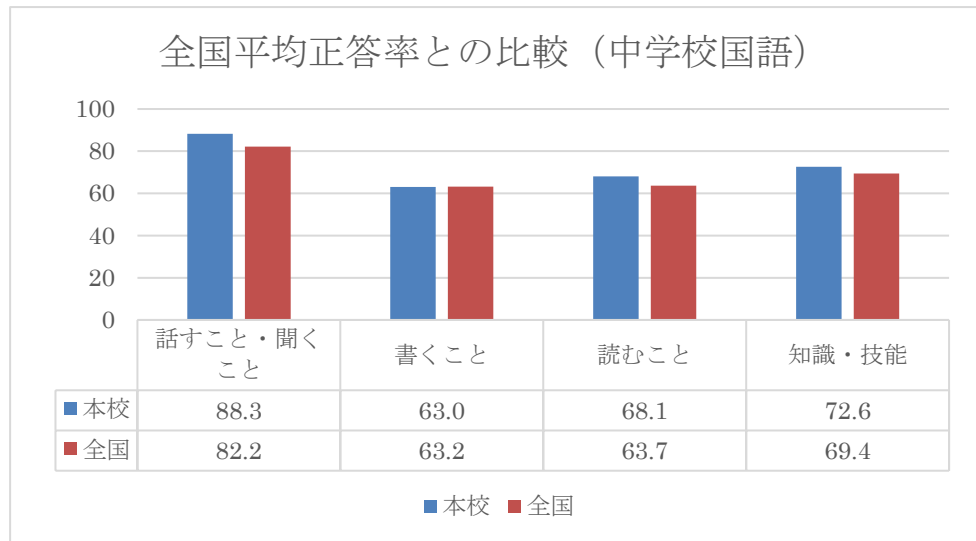
児童に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査 (例) 国語への興味・関心、授業内容の理解度、読書時間、勉強時間の状況など	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査 (例) 授業の改善に関する取組、指導方法の工夫、学校運営に関する取組、家庭・地域との連携の状況など

### ■ 調査結果及び考察について

全国学力学習状況調査は小学6年生・中学3年生と限られた学年が対象であり、教科は国語と算数・数学、英語(中学校)に限られています。さらに、出題は各教科の限られた分野(問題)です。したがって、この調査によって測定できるのは、「学力の特定の一部」であり「学校教育活動の側面」であることをご理解の上、ご欄ください。

## ■ 調査結果及び考察

### 1 国語



#### (1) 結果

「話すこと・聞くこと」「読むこと」「知識・技能」は、全国平均正答率を上回っています。「書くこと」についてもほぼ同等の結果でした。また、無解答率をみると、ほぼ全ての問題で全国平均よりも低くなっています。

#### (2) 成果と課題

**話すこと・聞くこと** 全国平均を6.1ポイント上回っています。『学び合い』の活動の中で目的に応じた応答を繰り返し行ってきたことが結果に結びついています。

**書くこと** 全国平均を0.2ポイント下回っています。相手意識を持って文章を整える活動や伝えたい事柄を適切に書く活動を授業の中で多く設定していきます。

**読むこと** 全国平均を4.4ポイント上回っています。『学び合い』の活動の中で、友達の意見を取り入れ自分の考えを広めたり深めたりする経験を積み重ねることを、今後も大切にしていきます。

**知識・技能** 全国平均を3.2ポイント上回っていますが、文脈に即して漢字を正しく書くことや言葉を適切に使うことについては、意味や用法を理解しながら身につけさせるように指導していきます。

#### (3) 学力向上のための取り組み

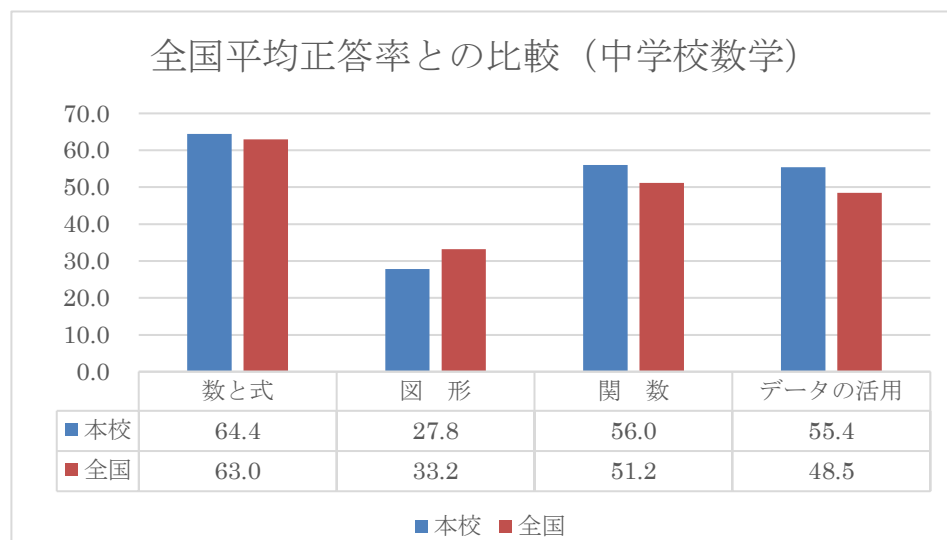
##### 【学校では】

- 生徒が主体的に学べるように、『学び合い』の授業を行い、生徒同士が話し合いながら、自分の考えを広げたり深めたりしながら学んでいけるようにします。
- 日々の授業で力を付けていけるように、すべての授業で「振り返り」の時間を設定します。
- 一人一台端末や辞書を活用させ、多くの問題を解かせることや多くの言葉に触れさせることで、語彙力を高め、学力向上につなげていきます。

##### 【ご家庭では】

- 授業プリントやテストの答案など、間違ったところを復習することで、学力は大きく向上します。自学ノート等を活用し、その日の授業を振り返るようにすることで学力は定着します。その際、授業内容を尋ね、話題にさせていただくとより効果的な振り返りになります。
- 新聞や本、ニュース等から得た情報を共有し、話題にしてください。知らない言葉が出てきたときに、興味をもって調べる習慣が身につけば、語彙力が高まります。

## 2 数学



### (1) 結果

「数と式」「関数」「データの活用」の領域で、全国平均を上回っています。「図形」の領域については、記述式の問題に苦手意識があります。また、無解答率を見ると、ほぼすべての問題で全国平均より低くなっています。

### (2) 成果と課題

観点別にみると「知識・理解」「思考・判断・表現」ともに、全国平均を上回っています。領域ごとにみると、「図形」以外は、全国平均を上回っていましたが、「数と式」の「自然数の意味を理解しているかどうかを見る問題」や「図形」の「ある事柄が成り立つことを証明できるかを見る問題」では、正答率が低くなっており課題が見られます。今後、『学び合い』の授業の中で、説明する活動、書く活動を多く設定し、振り返りでは記述した内容を確認する活動を取り入れていくことで、知識・技能の定着を図ります。

### (3) 学力向上のための取り組み

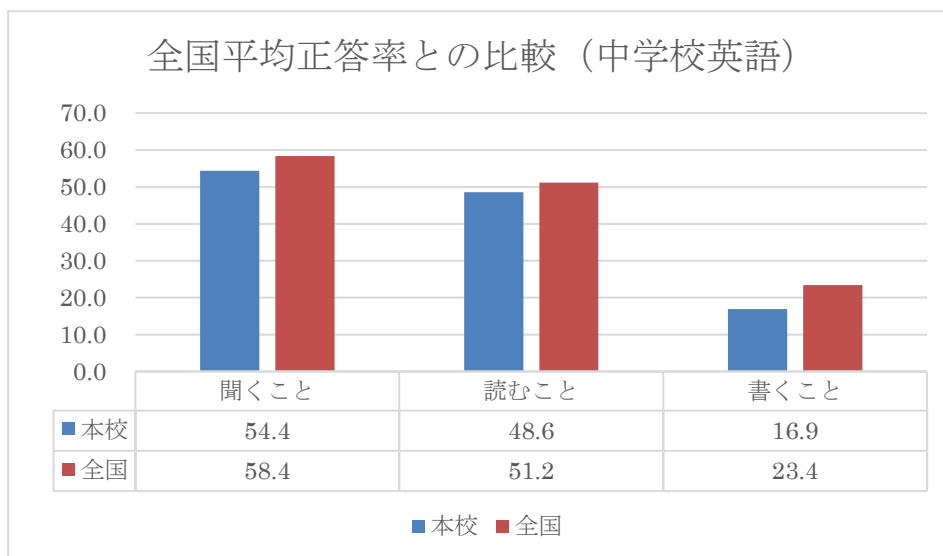
#### 【学校では】

- 『学び合い』の授業で、数学的な見方や考え方をはぐくむために、教え合ったり、説明し合ったりする場面を設定していきます。
- 単元ごとに、身につけたい力を提示し、見通しをもって学習に取り組むことができるようにします。また、振り返りを適切に行い学習内容の定着を図ります。
- 日々の指導の中で個々のつまづきに応じた指導を行い、学力向上に努めます。

#### 【ご家庭では】

- お子さんのドリルやプリント等の宿題の様子やテストをご覧になって、学習内容を家庭内での話題にし、家庭学習につなげてください。自学ノートを授業の復習に活用すると効果的です。
- 日頃の生活の中でみられる数学の事象も数多くあるので、ご家庭で一緒に調べていくと生徒の学習意欲の向上につながると思います。
- 学習内容の理解を深めるために、同一問題や類似問題、さらには発展的な問題に取り組んでいくことも大切です。

### 3 英語



#### (1) 結果

全ての領域で全国平均をやや下回っています。

「聞くこと」、「読むこと」に比べ、「書くこと」の対全国比が低くなっています。

#### (2) 成果と課題

今回の調査では、「聞くこと」の領域の「社会的な話題について説明の重点をとらえることができるか見る問題」の正答率が全国平均正答率を3.0ポイント上回っていました。また、「読むこと」の領域の「事実と考えを区別して読むことができかを見る問題」の正答率が全国平均正答率を7.1ポイント上回っていました。一方で、「日常的な話題について、情報を正確に聞き取ることができるかを見る問題」や「自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を読み取ることができるかどうかをみる問題」、「与えられた英語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりして文を完成させることができるかどうかをみる問題」には、課題が見られました。今後、『学び合い』の授業の中で、状況に応じて必要な情報を取捨選択したり、その理由を話し合ったりする活動や文を完成するのに適切な語が何かを吟味する活動などを取り入れ、英語力の向上を図ります。

#### (3) 学力向上のための取り組み

##### 【学校では】

- 学習者用デジタル教科書や一人一台端末などを活用しながら、「聞くこと」の活動を繰り返し行い、情報を正確に聞き取ることができるようにします。
- 『学び合い』の授業の中で、読んだことについて話す活動や、聞いたり読んだりしたことについて書く活動など、複数の領域を統合した言語活動の充実を図ります。

##### 【ご家庭では】

- 授業以外でも英語を使う機会を増やすことが英語力の向上につながります。英語への関心が高まるような励ましや称賛の言葉をかけてください。
- 英語学習のテレビ・ラジオ放送や英語学習用教材サイト等をご活用ください。（文部科学省のホームページでもたくさん紹介されています。）

## 4 生活習慣や学習習慣に関する調査

### (1) 結果

※「当てはまる」「どちらかと言えば当てはまる」「どちらかと言えば当てはまらない」「当てはまらない」のうち「当てはまる」と回答した生徒の割合。

《生活習慣・自己肯定感・規範意識について》

調査項目	本校 %	全国平均 %
朝食を毎日食べていますか。	76.8%	78.6%
毎日同じくらいの時刻に寝ていますか。	36.6%	34.7%
毎日同じくらいの時刻に起きていますか。	62.5%	54.8%
自分にはよいところがあると思いますか。	33.9%	37.2%
将来の夢や目標を持っていますか。	38.4%	39.4%
人の役に立つ人間になりたいと思いますか。	79.5%	71.7%
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。	82.1%	80.3%

朝食については全国平均を下回っていますが、規則正しい睡眠については全国平均を上回っています。「早寝・早起き・朝ごはん」の生活リズムを大切にしていくことはとても重要です。家庭と学校で協力して、習慣化していきましょう。自己肯定感がやや低い傾向にありますが、規範意識の項目については、肯定的な回答をした生徒が全国平均よりも高い結果が出ています。

《家庭学習の様子》

調査の項目	本校%	全国平均 %
家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。	14.3%	15.3%
学校の授業時間以外に、普段1日当たりどれくらいの時間勉強していますか。「3時間以上」	4.5%	10.3%
「2時間以上、3時間より少ない」	17.0%	23.4%
「1時間以上、2時間より少ない」	31.3%	32.1%
「30分以上、1時間より少ない」	20.5%	18.0%
「30分より少ない」	15.2%	9.9%
「全くしない」	11.6%	6.0%

家庭学習については全国平均を下回っています。中には全く家庭学習をしていない生徒もいました。かなり個人差が見られるので、家庭学習の意味を保護者や生徒に伝えて家庭学習が習慣化するように指導をしていきます。また、卒業後の進路選択を見据え、自分の目標に向かって、計画を立てて家庭学習を行う習慣の大切さについても指導していきます。

### (2) 改善に向けての取り組み

#### 【学校では】

- 学校では、自学ノートについても学年全体で取り組みその習慣が定着しつつありますが、今後は質の向上を目指して、それぞれの課題に応じた内容や授業の内容につながる取り組みを行っていきます。
- 学校行事やボランティア活動、地域の行事などの生徒の活躍の場を活用し、承認する場面を増やして、自己肯定感を育む取り組みを推進します。

#### 【ご家庭では】

- 学校便り・学年便り・授業プリント等をご覧になり、学校に関する会話をすることで、コミュニケーションを毎日とっていただきたいと思います。また、毎日決まった時間に家庭学習を行うように声かけをお願いします。
- SNS等の情報通信機器を使っている時間が長すぎる生徒も見られます。使い方については、ご家庭でしっかりお子様と話し合い、各家庭のルールを決めていただくようお願いします。